

日本学術振興会先端研究拠点形成事業「光生物学を軸とした神経可塑性研究拠点の形成」の一環として、2018年12月1～3日に同志社大学今出川キャンパスにて国際シンポジウムを開催した。国内外から43名が参加し、計29題(口頭12題、ポスター17題)の演題につき活発な議論を行った。演題の合間の休憩時間には、当該研究分野の現状・課題の共有や共同研究の可能性の模索など、盛んに意見交換がなされ、拠点形成の意に沿った有意義な場となった。参加者、特に若手研究者は、世界トップレベルの研究や議論に直接触れることで、知的な刺激を受けるとともに各々の研究を定位する貴重な機会を得た。また、1、2日目のセッション終了後には懇親会を行い、参加者どうしの親睦を深めた。こうした交流を通じて、神経可塑性の研究が活性化され、参加者各々が生命現象への理解を深めるきっかけとなることを期待する。

